



フェンスが取り払われ、元の姿に戻った森の中で「中央公園を守ったぞ！語る集い」が行われました。喜びと今後の抱負が語られました。(8・29 香里ヶ丘)

# 平和が いちばん

2016年9月15日  
第 111 号  
平和で豊かな枚方を  
市民みんなでつくる会

## 泉南市 政務活動費を廃止

「政務活動費」について報道がない日はないと言っても過言ではありません。号泣元議員は有罪が確定し、各地で「不適切支出」が摘発され、富山市では「領収書偽造」による不正取得から議員辞職に至っています。

7月13日、大阪府泉南市議会が「政務活動費廃止条例」を全会一致で可決しました。月3万円の政活費はゼロに、同時に月額報酬も1割削減し45万円にする条例も成立させました。臨時議会では議員提案通り16人全員が賛成しました。ある自民市議は「他議会で市民の疑念を招いた例もあり、思い切って全廃する方がいいと考えた。必要な視察や活動は議員報酬から支出し活発にやるべきだ」と述べています。

枚方市会議員の27年度の政活費報告書が議会事務局で閲覧できます(市のHPに各人の「収支報告」だけ掲載されています)。議員32人のうち手塚議員と妹尾議員の二人は請求せず、それ以外の30人が申請

し交付されています。総額は約2000万円になります。各議員が提出している報告書には疑問点・不明点が散見されます。多くの議員は「市政報告」や「議会報告」を印刷発行し、その費用に政活費を充てていると報告していますが、現物が一枚も添付されていません。果たして本当に発行されているのか確認できません。また政活費は選挙運動や党活動に使用できませんが、議員活動か疑わしい支出もあります。また一カ月に320ℓのガソリンを給油(月に3000km以上走行?)したとの報告も審査を通過しています。議会事務局は「議員の良識に任せています」としていますが、原資は市民の税金であることを片時も忘れられては困ります。

高額の議員報酬(約1000万円)のうえに不正の温床になりやすい、かつ煩雑で膨大な事務が必要な政務活動費は廃止を要求します。泉南市議会の英断に枚方市議会も続きましょう。

### 直言

### 安倍政権！暴力止めろ 高垣喜三(沖縄)

八月二十四日早朝、高江米軍オスプレイパッド建設に向けた築道工事が進められているN1ゲート前に、県議や市町村議、そして県民・支援のみなさんが集まった。

午前七時過ぎ、県道南からN1ゲートに向かう作業員の車に抗議活動を展開していた市民のうち一人が、機動隊員五・六名に囲まれ殴り倒された。彼の脚が機動隊員の脚にあたってとして公務執行妨害で逮捕連行されたとの緊急連絡が入った。全く無理筋の何の証拠も根拠もない、ただ運動を委縮させることを狙った警視庁機動隊による何でもありの不当逮捕である。

作業員の車は一旦メインゲートに入り、後でやってくる砂利ダンプと共に機動隊に護られてN1にやって来るだろうと、ゲート前集会参加者は不当逮捕抗議とダンプ搬入阻止のため県道をデモで南下し、座り込んで待ち受けた。わずかに五十数名の市民に全国から動員された五百名を超える機動隊員のうち二百名を超える機動隊員が圧倒的な力

で我々を道路端に追いやり砂利ダンプを通過させ、その際強力な力で突き倒された女性が頭を道路に強打し、かぶっていた帽子が真っ赤に染まるほどの出血で起き上がれず救急搬送されると言う事態に。幸い大事に至らなくてよかったが、先日の島袋文子オバアの五針縫う指の裂傷といい明らかな傷害事件だ。いったいこの国の警察はどうなっているのか。と言うよりこれが警察機動隊の本質だ。ヤクザ、暴力団と何ら変わることはない。権力を持っているだけ質が悪い。ダンプを追ってN1ゲート前に行こうとすると、この機動隊員たちが隊列を組んで阻む。その恰好のまま動こうとしない。県道を封鎖しているのは一体誰ですか？前に座って証拠写真を撮っても動こうとしない。

大阪府警からも何台もの装甲車や警備車とともに多くの機動隊員が来ている。莫大な税金の無駄遣いと県民に対する差別意識丸出しの暴力が続いている。大阪府警に抗議の声をぶつけて下さい。

# 手塚たかひろ 議員日誌

8月18日 **市の出前講座** 長寿社会推進室から介護支援総合事業の説明を受ける。国は2015年度から要支援1・2の方を介護保険給付の対象から外し、地域支援事業とした。枚方市も、2017年度から要支援1・2を介護保険の対象から外して地域支援総合事業にする。これまで全国一律の支援の内容が自治体によって変わる。自助、共助、まずは地域で支援するときれいごとを言っているが、給付対象を削減し、これまでの専門家による介護からボランティアを活用する。生活支援はヘルパーなどの専門家でなくてもできるようになる。国の責任が後退し、首長の姿勢でサービスに差が出る。国は要介護1.2の介護保険外しも検討している。さらなる介護切り捨てを許さないために、市へは独自施策の拡充、国へは介護保険改悪反対の声を届けよう。

9月2日 **香里の歴史を考える会主催の講演会** 講演は増永理彦神戸松蔭女子学院大教授。1955年から香里団地建設が始まった。香里団地の特徴は、①自然の地形を生かし自然をふんだんに残した、②戸建住宅、低層テラスハウス、中層スター型、多様な中低層住宅、③スーパー・文化施設・特養など多様な生活関連施設の整備などだ。85年から住宅公団は建替えを始めた。建替えによる高層化、土地の民間業者への切売りが進み、棟間が狭まり、緑が少なくなってきた。増永教授は、団地の空間と文化の継承を提起された。これ以上の緑、住環境の破壊の再開発は御免だ。枚方市も、再開発はURのやることではすまされない。地域の環境を守り住む人にやさしい街を作るのは行政の責任だ。

9月3日 **ひらかた9条の会主催「講演と文化のつどい」** 講師は浜矩子さん。「憲法とともに歩む一平和・くらし・日本の未来」のテーマで講演。アベノミクスと外交安全保障政策は表裏一体のもので、軍備増強を可能にするための経済基盤をつくろうとするもの。安倍首相は、憲法を変えて、日本を戦前に戻すことを狙っている。憲法は一言一句変えさせてはならない、と安倍批判を明快に語られた。最後に、人の言うことを聴ける耳、人のために泣ける目、救いを差し伸べる手を持つこと。これがアベノミクスに対抗する手段だと話を括られた。

8月22日 8月分議員報酬から219,600円を大阪法務局に供託

## 意見箱

### 公(おおやけ)ってなに? -市広報誌をみて

北野 京子

「広報ひらかた」9月号の表紙を開いて感じた違和感・・・見開きのカラーページに8つのレストランの目玉料理の写真と店の地図、営業時間や連絡先まで。「あれ? 『ぼど』と間違えたかな?」。もう一度表紙を見て「やっぱり広報だ!？」

「市保健所と8つの飲食店が協力して、ヘルシーメニューを提供」ということですが、なんか変。他のお店の経営者はどう感じるんだろう。同じ日に配布された「リビング京阪」にも、地元ニュース「市保健所が市内のお店と一緒にヘルシーメニュー作り」という記事が掲載されていました。その中には私のお気に入りの店もあるし、普段から健康に気がついた料理を提供しているのは知っているのだけど、もし、これだけの記事を広告として出したら、一体いくらかかるのでしょうか。

広告と言えば、TVの朝ドラで、「あなたの暮らし」という雑誌を発行するのに、編集長の花山は、広告を載せない姿勢を貫く。会社の経営に行き詰まった常子が、仕方なく一社の広告を載せるが、そのことが理想の雑誌作りの足かせになる事態に発展するというくだりがありました。

今、財政が厳しい中、公がすべきことを民間にまかせる流れがあります。今回、公がすべきことは1000円のランチメニューよりも、民にゆだねた330円(中学校)の学校給食の点検や啓蒙ではないでしょうか。給食で一日の栄養を支えている子どもがいること、食習慣をきちんとつけることが、今後に大きな影響を与える「食育」の基本になるからです。また、全国的に広がっている「子ども食堂」のような支援をもっと考えることも公のすべきことではないかと思います。

〒573-0027

枚方市大垣内町

2丁目8-27

シンエービル別館A

市民の広場“ひこばえ”

TEL&FAX

072-846-8780

## 平和で豊かな枚方を市民みんなで作る会

共同代表 黒田 薫 (平和都市枚方を考える市民の会)

鈴木めぐみ (親と子のリズム遊び講師)

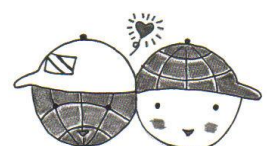
奥村 秀二 (弁護士)

おおた幸世 (枚方市平和無防備条例を実現する会)

事務局長 手塚 隆寛 (枚方市会議員)

メールアドレス: [hiratkatasiminnokai@yahoo.co.jp](mailto:hiratkatasiminnokai@yahoo.co.jp)

ホームページ: <http://hiratkatasiminnokai.jimdo.com/>



「会」のシンボルマーク

塔本賢一さん作